

## さらなる飛躍を目指す年に



近畿外壁仕上業協同組合  
理事長 宮澤 健一

皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、当組合の活動にご理解と多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご支援が、組合運営の大きな支えとなりましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、十干十二支でいう「甲辰（きのえ・たつ）」の年であり、活気と成長の兆しを感じさせる一方で、国内外問わず、社会情勢の大きな変化に直面した一年でもありました。国内では、少子高齢化による労働力人口の減少が喫緊の課題として続き、「働き方改革」への取り組みが引き続き重要なテーマとなりました。

多様な働き方の実現を目指し、長時間労働の是正や非正規雇用労働者の処遇改善などが推進され、私たちを取り巻く労働環境も大きく変化しました。高市総理は、「心身の健康維持と従業員の選択を前提にした労働時間規制の緩和の検討」を厚生労働大臣に指示しました。これは、従来の「働き方改革」が残業時間の上限規制を設けることで、労働者の働く時間を制限してきたのに対し、「もっと働きたい人が働けるようにする」という「働きたい改革」を推進するものです。この「働きたい改革」が、労働者の選択の自由を尊重しつつ、いかに健康と安全を確保し、持続可能な社会を築いていくかが今後の大きな課題となると思います。

昨年も当組合は業界発展のために必要な活動を展開してまいりました。外壁仕上基幹技能者講習の開催や近畿地方整備局との意見交換会、そして製販装の連携強化を図り材工懇談会を開催しました。これらの活動が組合員と賛助会員の皆様が安心して働き続けられる環境の構築に貢献できたと思っています。

さて、本年である「乙巳（きのと・み）」は、古い殻を破り、新たな成長と発展を遂げる年と言われています。当組合におきましてもこれまでの経験を活かし、さらなる飛躍を目指す年にするためには組合員、賛助会員、一人ひとりが今まで以上に結束し、組合活動への積極的な参加が組合の力が最大限に発揮させるために必要であると感じています。

組合員、賛助会員の皆様には、本年も格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。組合活動は、皆様の声が土台となり、その力が原動力となります。ぜひ、忌憚のないご意見をお寄せいただき、共に組合を盛り立てていくことができれば幸いです。

最後になりますが、本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう、そして皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。